

## 現代社会課題プリント 第1回 解答・解説

### 〇はじめに (1) - 現代社会の学び方

現代社会という科目は、私たちの生活に関わる様々なことについて学んだうえで、現代に起こっている問題について考え、解決できる能力を身に付けることを目的としています。そのため、学ぶ内容について覚えることが目的ではなく、学んだ内容を使って問題点について考え、自分の意見を述べるができるようになることが目的です。皆さんが社会において問題を解決できる主体となるような「学び方」をしてくれることを期待しています。

### 〇はじめに (2) - 課題プリントの作成意図

上で述べた学び方を実践するための第1歩として、教科書やプリントから知識を得ることができる、もしくは教科書やプリントから知識を得るために努力ができるかを評価の対象としています。この場合の「努力」とは、教科書を読んで意見をまとめようとしているか、わからない言葉や内容について調べた形跡があるか、ということです。

## 〇解答 - 地球環境問題

### (1)

問1 (例) CO<sub>2</sub> 排出量が増加することと平均気温の上昇は関係があると考えられ、地球全体の CO<sub>2</sub> 排出量が増加すると南極の氷が溶けて、モルディブの島が沈むことになることが予想される。

解説:教科書のグラフを読み取ることができているか、読み取った内容とモルディブの運命を「南極の氷」というキーワードを使って説明できているのか、がポイントです。

問2 (例) 異常気象(台風・ハリケーン・高温、ゲリラ豪雨、集中豪雨、エルニーニョ現象 etc)、砂漠化、生態系の破壊、森林減少、森林火災、干ばつ etc

解説:教科書その他を使って調べることで多く書けているほうが良いが、地球温暖化が直接的な原因だと言えないもの(オゾン破壊や酸性雨など)との混同に注意すること。

問3 温室効果ガスは赤外線を吸収する効果があり、放射熱として宇宙に出ていた熱が地球に留まるから。

解説:温室効果ガスが赤外線を吸収する物質であるということ、それが原因で地球に留まる熱の量が増えていることが書けていること。

問4 1992年(気候変動枠組み条約) 1997年(京都議定書)

2015年(パリ協定)

問5 1997年(最大のCO<sub>2</sub>排出国であるアメリカが不参加であること、中国をはじめ途上国に削減義務がないこと)  
2015年(2016年にアメリカが離脱したこと)

解説:どちらもアメリカが参加していないこと。京都議定書では中国をはじめとする発展途上国に削減義務がないことが書けていること

### (2) 表面

問1 中国・アメリカ・インド・ロシア・日本

問2 国土が広く、国の面積が広い

解説:グラフを通して人口が多い国が、CO<sub>2</sub> 排出量が多いことに気付いてほしい。また、日本は人口に比して CO<sub>2</sub> 排出量が多いことにも気付いてほしい

問3 ブルネイ・アメリカ・オーストラリア・カナダ・韓国

問4 経済的に発展した国であること

解説:ブルネイは石油と天然ガスの産出国であるために多くなっている。韓国以外の国は資源を豊富に埋蔵する国である、という視点でも見ることができる。

問5 自分自身の考え方を書けていれば良いが、問題文で「国家単位」か「1人あたりの排出量」かと問われており、それに関係するグラフが載っている以上、グラフの内容を使用して書けているほうが評価は高くなる。特に注目すべきなのは中国・アメリカ・インドの関係性で、国家単位の量では中国が圧倒的に多く、次いでアメリカ・インドだが、1人あたりの量ではアメリカが2番なのに対して、中国は14番目、インドは27番目である。

## (2) 裏面

問1 (A) (B) (C) (D)

解説:図を読み取る力があるかどうか。また、調べる力があるかどうか。

問2 CO<sub>2</sub> (鷹・うさぎ・カエル・その他の虫(分解者)・植物)

O<sub>2</sub> (植物)

解説:植物は光合成によってO<sub>2</sub>を排出しているイメージがあるが、呼吸によってCO<sub>2</sub>も排出していることに注意。

問3 植物の量:(増加する) 鷹の量:(減少する)

問4 1通り目(直接、空気中の汚染物質を吸い込む)

2通り目(汚染物質を吸収した他の生物を食べることで体内に吸収される)

解説:高次消費者(生態系ピラミッドの上部消費者)になるほど複数の経路で体内に入ることに注目

## (3)

問1 生物にとって有害な紫外線を吸収する天然のバリアの役割を果たしているから。

問2 フロン(ガス)

問3 有害な紫外線が増加し、皮膚がんや白内障などになる可能性がある。

問4 モントリオール 問5 カナダ

解説:オゾンの化学式はO<sub>3</sub>だが、元素記号「O」は寂しがり屋で、他の物質が近くに来るとすぐに引っ付いてしまう性質がある。炭素(C)が来れば、引っ付いてCO<sub>2</sub>、塩素(Cl)が来れば、ClO<sub>2</sub>となってオゾンであることをやめてしまう。しかし、我々の生活を考えるとO<sub>2</sub>か、O<sub>3</sub>でいてほしいものですね。オゾン層に穴が開いてできるオゾンホールは南極上空で特に深刻であるが、オゾン層破壊物質の減少によって、近年オゾンホールが縮小傾向にあることもわかっている。

## (4)

問1 窒素酸化物と硫黄酸化物

問2 石炭や石油、天然ガスなどの使用によって発生する。

問3 土壌に浸透して、土が酸性化することで植物が育たなくなったり、生態系が崩れたりする。

(歴史的建造物などが酸性雨によって溶ける(腐食する))

問4 長距離越境大気汚染条約

解説:環境汚染が自国だけでなく、他国の経済活動の影響も受けることを示すわかりやすい例である。日本でも近年、PM<sub>2.5</sub>の増加の原因の1つが中国からの飛来であることが話題になった(日本の都市部や工業地帯では以前から多かった)。一方で、2011年の福島原発の事故では放射性物質が日本から飛散して、近隣諸国だけでなくアメリカやヨーロッパでも検出されている。

○解答 — 楽しく覚えよう都道府県クイズ

解説：都道府県を覚えるときには、その土地の場所、形、気候、名物などを知っておくと、その都道府県への親近感が沸いてくると同時に、旅行などに行く際にも、より深く楽しむことができるようになりますね！また、他の都道府県出身の人との会話にも役立ちますね。

1	北海道	2	青森	3	秋田
4	岩手	5	山形	6	宮城
7	福島	8	茨城	9	栃木
10	群馬	11	埼玉	12	山梨
13	千葉	14	東京	15	神奈川
16	静岡	17	愛知	18	長野
19	岐阜	20	新潟	21	富山
22	石川	23	福井	24	三重
25	滋賀	26	京都	27	奈良
28	和歌山	29	大阪	30	兵庫
31	岡山	32	広島	33	鳥取
34	島根	35	山口	36	徳島
37	香川	38	高知	39	愛媛
40	福岡	41	佐賀	42	長崎
43	大分	44	熊本	45	宮崎
46	鹿児島	47	沖縄		

○解答 — 世界遺産をマスターしよう！！

	地域	名称		地域	名称
A	北海道	知床	L	沖縄	琉球王国(以下、略)
B	青森	白神山地	M	鹿児島	<u>屋久島</u>
C	岩手	平泉(以下、略)	N	長崎	長崎と(以下、略)
D	栃木	日光の社寺	O	福岡	宗像・沖ノ島(他、略)
E	群馬	富岡製糸場(以下、略)	P	福岡	八幡製鉄所(他、略)
F	東京	国立西洋美術館本館	Q	広島	厳島神社
G	静岡と山梨	富士山(以下、略)	R	広島	原爆ドーム
H	奈良	古都奈良の文化財	S	兵庫	姫路城
I	奈良と和歌山と三重	紀伊山地(以下、略)	T	京都と滋賀	古都京都の文化財
J	奈良	法隆寺(以下、略)	U	富山と岐阜	白川郷・五箇山(以下、略)
K	東京	<u>小笠原諸島</u>	V	<u>島根</u>	石見銀山遺跡

\*スペースの都合上、解答を略している部分がありますが、教科書も参照してください。

\*選択肢に島根・屋久島が抜けていました。お詫びします。